

日本人の忘れもの

それは

「ことばの力」を石碑に刻む
プロジェクトです。

2011年3月11日に発生した東日本大震災。

私たちが住む福島県飯館村は、原発事故による放射能の影響で
全村避難となりました。

この間全国の皆様から励ましと温かいことばをいただき、
とても勇気づけられました。

同時に、あらためてことばの持つ力にも
気づかされたのです。

そこでこの度私たちは、この出来事をきっかけに
日本や日本人が大切にしてきたことばを

「日本人の忘れもの」というテーマで全国から募り、
次の世代にも受け渡したいと考えました。

日本人が忘れてしまった豊かなことば、
残したいことば、

忘れたくないことば、
希望のことば、

みなさんの大切なことばをお待ちしています。

福島県飯館村立飯館中学校 生徒一同

— 応募要項 —

〔募集することば〕 10文字以内でお願いします。また、そのことばを選んだ理由も書いてください。

〆切 平成24年11月15日

発表日 平成24年12月20日（入選者に直接お知らせします）

応募方法 官製ハガキ または、飯館村特製ハガキ（50円切手をお貼りください）にてご応募ください。
応募数の中から20前後を選びそのことばを石碑に刻み中学校の庭に設置します。同時に冊子にする予定です。

送付先 〒960-1302 福島県福島市飯野町明治字藤柄13-2 飯館中学校内「日本人の忘れもの実行委員会事務局」

審査員 中学生6名、黛まどか（俳人）、増田明美（スポーツジャーナリスト）、菅原美智子（ラジオ福島アナウンサー）、佐川旭（建築家）

問い合わせ先 飯館村教育委員会（TEL：024-562-4257） 飯館村立飯館中学校（TEL：024-573-1161）